

第1回3月11日知事メッセージ起草委員会 主な意見

日時 平成29年2月6日(月) 10:30~12:00

場所 応接室(本庁舎2階)

出席者 委員長：知事、伊藤部長

委員：加藤卓哉、佐々木孝司、蜂須賀禮子、早川正也、本多環、
横田純子(50音順)

事務局 企画調整課 林課長、加藤主幹、中村主任、佐久間副主査、山口主事

1 全体的な趣旨・方向性等

- ・知事の言う「言葉の力」「文字の力」は、非常に大きい。
- ・まだ6年しか経っていない。真の復興はまだ先。
- ・6年経ち風化が進む今だからこそ、声高らかに訴えるべき。3.11 だからこそ発信できる。
- ・現時点の状況を、歴史として残していくべき。
- ・今年のメッセージが、今後の新たなベースとなる。
- ・知事は私たちを「県民の代表」とおっしゃった。私たちも本気。
- ・知事メッセージの意味合い・重みは、何年経っても同じ位置づけ・立ち位置。

2 対象

- ・誰のため、何のためのメッセージなのかを、改めて問い直す必要。
- ・誰に向かって書くのかをより鮮明にすべき。そうしないと、インパクトがない。
- ・主に全国・世界に向けて発信することとし、それに県民がついていくような内容。

3 何を盛り込むか

- ・まず、6年目を象徴する言葉があって、知事の思いにつなげる。
- ・被災地に寄り添うということは、忘れてはいけない。
- ・2年目にがんばると言ったものが今どうなのか、6年目の重さをどう書くか。
- ・これまで、光と影の議論をしてきた。昨年になって、避難者のいじめなど新たな影が出てきたように、6年目でどうなのかということを改めて考えたい。

4 どう書くか

- ・「風化」などのキーワードをどう組んでいくか。その際、来年度も使うことを念頭に検討する必要。
- ・女性でも子どもでも分かりやすい、柔らかい言葉で。
- ・きちんと文字や言葉で残しておくことが重要。

5 生の声・思い

- ・「知事メッセージ」なので、知事の「訴えたいこと」「気持ち」が込められたものとしてほしい。
- ・知事の言葉から出る「気持ち」を入れたい。
- ・「ふくしまプライド」など、「知事の思い」を書きたい。
- ・子どもやお年寄りが書いた言葉があれば、引用したい。
- ・当事者の言葉そのものが、ものすごくインパクトを持つ。
- ・ハードとソフト（人の気持ち）の2つの柱をバランス良く書きたい。